

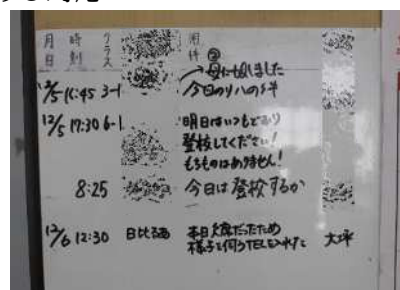
教育の質を落とさず、業務の効率化・スリム化を目指した取組

羽島市立竹鼻小学校

1 取組の内容

(1) 事務作業時間の確保と業務の効率化

- 月に一度「プレミアム竹鼻デー」(全校4時間授業 14時下校)を位置付け、児童のゆとりとともに放課後時間の余裕を生み出している。
- 指導計画と実施授業時数を踏まえて5時間授業の日を増やす等、時間割の見直しを図ることで放課後時間を生み出し、事務作業時間を確保している。
- 業務の効率化を図るため以下のような取組を実践している。
 - ・校務支援システムの活用⇒出席簿・指導要録の記入、成績処理等の効率化
 - ・欠席の連絡の電子化⇒対応時間の削減
 - ・個人懇談を5月(希望制)9月、2月に行い、教育通信(前・後期)の所見はなし
 - ・職員間での連絡・資料の共有におけるロイロノートの活用⇒会議の時間・回数の削減
 - ・早く帰る日の設定や留守番電話による対応⇒メリハリのある対応
 - ・ホワイトボードの活用による電話対応の情報の共有
 - ・学校行事・校外学習の精選
 - ⇒高学年は、宿泊研修、修学旅行以外の校外学習を削減
 - ・学校配当予算の活用(トイレ掃除やプール掃除、除草等について専門業者への委託)



電話対応の情報の共有

(2) 教科担任制の導入による空き時間の確保

- 教科担任制・学年内学級担任交替制の実施している。
 - ・6年生は完全実施, 3～5年生は一部教科の実施, 1～2年生は, 交換授業を実施
 - 中・高学年の担任は1人あたり週4～6時間の空き時間を確保

2 取組の結果

- 年々、時間外在校等時間が減少している。
- R7時間外在校等時間 80 時間超の教員は, 4月2名, その他の月は0名(職員 33 名中)
- 月平均時間外在校等時間 45 時間超(4月～11月)の教員は, 3名(職員 33 名中)

時間外在校等時間の状況(月平均時間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5	67.2	56.4	55.3	34.2	12.2	57.4	51.1	52.1	41.5	39.2	54.5	50.5
R6	51.0	47.3	41.5	30.2	9.2	38.0	37.3	35.2	29.1	29.2	40.1	37.6
R7	45.4	36.5	34.4	23.5	5.1	30.3	27.5	32.4	21.6	21.4	23.3	

3 成果

「元気に出勤, 笑顔で帰宅, 明日も子どもたちと…という気持ちになる竹鼻小」を合言葉に, 勤務の効率化・スリム化を行いながら, 生み出された時間を普段の子ども理解と質の高い授業づくりに充てることができた。

本校は, 今年度11月に岐阜教育事務所及び羽島市教育委員会指定研修校として公表会を開催した。上記の取組により, 一人一人の教員の自己研鑽に充てる時間が十分確保されたり, 日常を大切にした実践と見通しをもった取組が推進されたりすることで, 大きな成果を生み出すことにつながることができた。